



PERFECT
SERIES

FINE
PERFECT
CERAMIC
BEST

ターペン可溶2液セラミックハイブリッド超高耐候無機系屋根用塗料

ファインパーフェクトセラミックベスト

美しい
つや感

高い
耐久性

防藻・
防かび性

ツヨク、
ウツクシク、
スマイヨク。

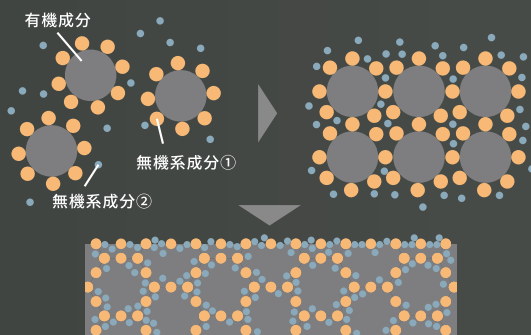
FINE
PERFECT
CERAMIC
BEST

住まいの「美観」をまもり、「寿命」を延ばすハイグレード屋根用塗料 ファインパーフェクトセラミックベスト

パーフェクトシリーズのラジカル制御技術とセラミックハイブリッド技術を融合。フッ素樹脂塗料を超える高耐候性を誇るシリーズ最高峰の屋根用塗料です。

セラミックハイブリッド無機系塗料とは？

無機塗料は紫外線に強く、高い光沢と燃えにくさが特長ですがその反面、塗膜が割れやすいという性質がありました。そこで無機の特長である紫外線への強さや高い光沢と有機の特長である柔軟性をハイブリッド化することで優れた耐久性を発揮します。また、藻やかびの発生を抑制し、屋根の美観を維持します。



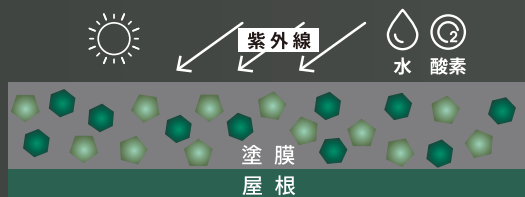
独自技術で紫外線から住まいをまもる、優れた高耐候性塗料

一般的な塗膜は、酸素や水とともに紫外線があたると顔料からラジカルが発生し、塗膜劣化を誘発します。そこで日本ペイントは、特殊光安定剤を複数配合することでラジカル制御技術を最大限発揮し優れた耐候性を有します。

● 上塗り塗料の耐候性のグレードレベル

塗料の耐候性には様々なグレードがありますが、ラジカル制御形塗料は住まいを長持ちさせる品質・性能をコストパフォーマンス良く享受できるのが魅力です。ファインパーフェクトセラミックベストはフッ素を超える高耐候性。長期的に見て塗装回数が減り、お住まいのメンテナンス費用削減につながります。

ラジカル制御技術が樹脂の劣化を防ぎます。



特殊光安定剤 (A) 紫外線の到達を阻止しラジカルの発生を抑えます。

特殊光安定剤 (B) 発生したラジカルをおさえ込み塗膜の破壊を抑えます。

※ファインパーフェクトセラミックベストは遮熱塗料ではありません。

PERFECT SERIES
ファインパーフェクトベスト
ファインパーフェクトルー
パーフェクトセラミックベスト

PERFECT CERAMIC
ファインパーフェクト
セラミックベスト



高耐候

アクリル樹脂塗料

ウレタン樹脂塗料

シリコン樹脂塗料

ラジカル制御形高耐候性塗料

フッ素樹脂塗料

ハイブリッド無機系塗料

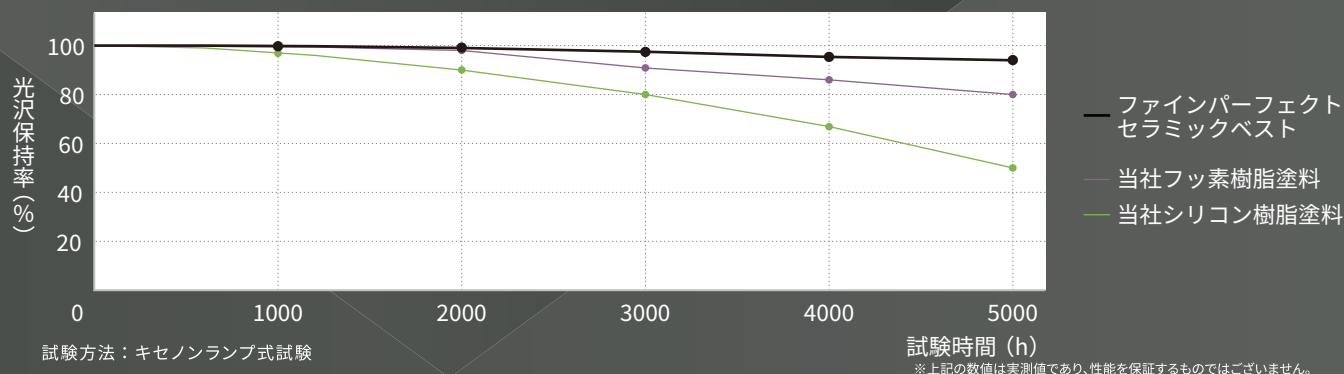


🏠 ファインパーフェクトセラミックベストの主な特長

1. 優れた耐候性

ファインパーフェクトセラミックベストは、促進耐候性試験において優れた耐候性を示します。

促進耐候性試験



2. 対応屋根材

住宅用化粧スレート、洋瓦、セメント瓦、陶器瓦、トタン屋根等の各種屋根素材に幅広く対応します。

住宅用化粧スレート屋根



洋瓦



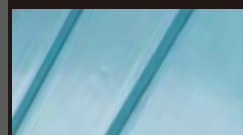
セメント瓦



陶器瓦



トタン屋根



3. 優れた作業性

乾燥が早く、作業性に優れています。

4. 防藻・防かび機能

藻やかびの発生を抑制し、屋根の美観を維持します。

5. 選びやすい標準色 ラインナップ<23色>

ライトグレー	ジェノバブラウン	ナポリブラウン	ブラウン	ミラノグリーン	スカイブルー
ダークグレー	ダークチョコレート	ニューワイン	赤さび	グリーン	ベネチアブルー
ディープグレー	トリノブラウン	チョコレート	ローマオレンジ	ポローニャグリーン	ナスコン
ブラック	コーヒーブラウン	マルーン	オレンジエロー	モスグリーン	

※掲載しているカラーイメージは印刷のため、実際の色味とは異なります。正確な色味については別途色見本帳でご確認ください。

🏠 塗料性状・荷姿

塗料名	色相	つや	容量	ポットライフ
ファインパーフェクトセラミックベスト	23色	つや有り	15kgセット(塗料13.5kg・硬化剤1.5kg) 3kgセット(塗料2.7kg・硬化剤0.3kg)	6時間以内(23°C)

🏠 適用下地

	適用下塗り塗料	適用下地
屋根	<ul style="list-style-type: none"> ●ファインパーフェクトベスト強化シーラー ●ファインパーフェクトシーラー ●ファイン浸透造膜シーラー ●ファイン浸透シーラー ●1液ベストシーラー ●パーフェクトプライマー ●ハイボンルーフデクロ ●1液ハイボンファインデクロ ●ハイボンファインプライマーII ●エスパーワンエース 	<ul style="list-style-type: none"> ●住宅用化粧スレート屋根 ●洋瓦 ●セメント瓦 ●陶器瓦 ●トタン屋根

各種旧塗膜の上

🏠 乾燥時間

	5~10°C	23°C	30°C
指触乾燥	60分	30分	20分
塗り重ね乾燥	4時間以上7日以内	3時間以上7日以内	2時間以上5日以内

※乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

標準塗装仕様(塗り替え) 下塗り塗料を選ぶことでスレート・洋瓦・鋼板屋根に対応可能です。

●住宅用化粧スレート屋根・波形スレート屋根 塗り替え

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23°C)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法	
下地調整	ごみ、ほこり、かび、こけ、藻など、付着物は入念に除去する。素地に近づけ 9.8MPa(=100kgf/cm ²)以上の高圧水流が望ましいが、高圧水流ができない場合はホースで水を流しながら金属ワイヤブラシなどを用いて清掃する。水洗い後は翌日まで乾燥させる。旧塗膜がある場合は、浮いたり、割れたり、膨れたりしている劣化塗膜、露出している着色セメント層を入念に除去する。十分に付着している塗膜は残してよい。							
下塗り	2液	1~2※1	0.15~0.30	4時間以上7日以内※2	無希釈※3	-	はけ・ウールローラー・エアレススプレー	
	2液							ファインパーフェクトシーラー
	1液							ファイン浸透シーラー
	1液							1液ベストシーラー
1液	ファインパーフェクト強化シーラー	0.15~0.30	3時間以上7日以内※2					
上塗り	ファインパーフェクトセラミックベスト	2	0.15~0.18	3時間以上7日以内	塗料用シンナーA	0~10	はけ・ウールローラー・エアレススプレー	
緑切り	水切り部で化粧スレートの上下の重なり部分が塗料でつまっている箇所は緑切りを行う。							

注)上記の各数値は、すべて標準のもので、被塗物の形状、種類、素地の状態、気象条件、施工条件などによりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

注)旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。

注)下塗りにはファイン浸透シーラーもご使用いただけます。

※1 シーラーは、ぬれ感が出るまでを目安にしてください。素地への吸い込み箇所がある場合は、その部分を増し塗りしてください。また、シーラー乾燥後ガムテープで基材のはがれがないかチェックし、はがれなどがある場合は再度シーラーを塗付してください。

※2 ファインパーフェクトシーラー、ファイン浸透シーラー、1液ベストシーラー、ファインパーフェクト強化シーラーは、高温下では硬化反応が著しく速まります。

高温時の施工では、上塗りを3日以内に塗り重ねてください。

※3 少しでも希釈すると付着性が低下します。

●洋瓦屋根・セメント瓦屋根 塗り替え

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23°C)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整	ごみ、ほこり、かび、こけ、藻など、付着物は入念に除去する。素地に近づけ 9.8MPa(=100kgf/cm ²)以上の高圧水流が望ましいが、高圧水流ができない場合はホースで水を流しながら金属ワイヤブラシなどを用いて清掃する。水洗い後は翌日まで乾燥させる。旧塗膜がある場合は、浮いたり、割れたり、膨れたりしている劣化塗膜、露出している着色セメント層を入念に除去する。十分に付着している塗膜は残してよい。						
下塗り	1液	1~2※1	0.15~0.30	4時間以上5日以内※2	無希釈※3	-	はけ・ウールローラー・エアレススプレー
上塗り	ファインパーフェクトセラミックベスト	2	0.15~0.18	3時間以上7日以内	塗料用シンナーA	0~10	はけ・ウールローラー・エアレススプレー
緑切り	水切り部で化粧スレートの上下の重なり部分が塗料でつまっている箇所は緑切りを行う。						

注)上記の各数値は、すべて標準のもので、被塗物の形状、種類、素地の状態、気象条件、施工条件などによりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

注)旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。

※1 シーラーは、ぬれ感が出るまでを目安にしてください。素地への吸い込み箇所がある場合は、その部分を増し塗りしてください。また、シーラー乾燥後ガムテープで基材のはがれがないかチェックし、はがれなどがある場合は再度シーラーを塗付してください。

※2 ファインパーフェクト強化シーラーは、高温下では硬化反応が著しく速まります。

高温時の施工では、上塗りを3日以内に塗り重ねてください。

※3 少しでも希釈すると付着性が低下します。

●鋼板屋根・トタン屋根 塗り替え

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23°C)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜、さび、付着物などの周辺をワイヤブラシ、ケレン棒などで除去する。溶接部のさびは、電動工具で除去する。油脂分、水分は溶剤ふきを行い清浄な面とする。						
下塗り	1液	1	0.13~0.15	4時間以上7日以内	塗料用シンナーA	5~10	はけ・ウールローラー
	ハイボンドーフデコ ※1						
	または 1液ハイボンドーフデコ						
2液	1	0.14~0.16	4時間以上7日以内※2	塗料用シンナーA	0~5	はけ・ローラー	
パーフェクトプライマー ※1		0.16~0.18					0~5
上塗り	ファインパーフェクトセラミックベスト	2	0.12~0.14	3時間以上7日以内	塗料用シンナーA	0~10	はけ・ウールローラー・エアレススプレー

注)上記の各数値は、すべて標準のもので、被塗物の形状、種類、素地の状態、気象条件、施工条件などによりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

注)塗料の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

※1 下塗りにはハイボンドーフプライマーIIやエスパワウンエースもご使用いただけます。

※2 高温下では硬化反応が著しく速まります。高温時の施工では、上塗りを3日以内に塗り重ねてください。

施工上の要点と注意事項 ※詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください。

1.水切り部で屋根材の重なり部分に塗料が付着し詰まっていると、漏水の原因になります。皮すき、ケレン棒、カッターなどを用いて溜まった塗料を除去する緑切りを行ってください。2.水洗い後は、1日以上乾燥させてください。また素地表面が雨、露などで濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。(光沢低下、膨れ、はく離の原因となります)。3.下地調整が不十分だと塗膜はく離の原因となったり、光沢が出ないなどの仕上がり不良な場合があります。塗り替えでは必ず素地に近づけ、9.8MPa(=100kgf/cm²)以上の高圧水流が金属ワイヤブラシなどによるケレン後、水洗いを実施し、付着物、劣化塗膜や基材の劣化物を十分に除去してください。4.昼夜の温度差が激しい時期や、山間部など夜露の早く降りる地域では、結露によるつや引け現象が起こりやすいため、早めに塗装を終えて十分に乾燥時間を確保してください。塗装後早期に結露の影響を受けると光沢低下や膨れ、割れ、はく離の原因になります。5.塗装場所の気温が5°C未満、もしくは湿度85%以上である場合は、または換気が十分でなく結露が考えられる場合は、塗装は避けてください。6.経年劣化や下地の劣化が著しい場合は、「ニッペファイン浸透造膜シーラー」(ニッペファインパーフェクト強化シーラー)をご使用ください。7.粘土瓦の種類違い、いぶし瓦には使用しないでください。洋風コンクリート瓦仕様の再塗装の場合は、別途最寄りの営業所にお問い合わせください。8.シーラー類、サフェーサーと上塗りの混合は避けてください。はけ、ローラーなどの共用も避けてください。9.下塗り乾燥後、ガムテープで基材のはく離がないかチェックし、はく離がある場合は、再度下塗りを塗付してください。10.防さび性はあります。むね、すみねなど金属製役物か、さびている場合は、発錆部位とその周囲を十分にケレンし、下塗りに「ニッペ1液ハイボンドーフデコ」塗料を塗付してください。11.トタン屋根が見えている所、さびの生じている所はケレン後、必ずさび止め塗料を塗付してください。使用できるさび止め塗料については、各塗装仕様書をご参照ください。12.塩ビ・鋼板の上の塗装は、避けてください。経年でつやが引けているような塩ビ・鋼板に対しては、変性エポキシ樹脂プライマーを下塗りに使用することで塗装できる場合があります。詳細は事前にご相談ください。13.塗り替え後は、滑り性がよくなる場合があります。積雪時にまとまった雪が落ちる可能性があります。ご注意ください。14.無石棉スレート板に塗装すると反りやクラックが発生する可能性があります。15.十分な塗膜性能を確保するため、規定の使用量をおまもりください。16.こみほり、油・樹液などは、塗装前に水洗い、溶剤拭きなどで十分に除去し、乾燥した清浄な面にしてください。17.防露・防かび効果は、塗装後は抑制するものです。すでに繁殖してしまっている場合は、下地処理として除去および殺菌処理してから塗装してください。18.所定のシーラー以外を使用したり、薄めすぎるとつやが引け、ダシ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシーラーおよび希釈率をまもってください。19.異なる色相を塗り重ねる場合(例:1回目の上塗りを塗装してから、別な色相でラインや帯などを塗装する場

合など)2回目の上塗りが1回目の上塗りを覆してラインや帯などが変色(ブリッドにより)する場合がありますのでご注意ください。20.硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。21.水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。22.硬化剤は湿度で硬化しますので密栓して貯蔵してください。23.塗料を扱う場合は、皮膚に付着しないようにご注意ください。また、蒸気やミストなども吸い込まないように十分にご注意ください。24.塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合は(高湿度、結露、降雨など)、塗膜表面が白化するおそれがあります。水分の影響を受けるおそれがある場合は、塗装を避けてください。25.旧塗膜に発生した漆・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面にしてください。付着阻害をおこすおそれがあります。26.改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を剥離し溶剤膨れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認の上、塗装仕様をご確認ください。27.塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりや作業性が低下することがあります。28.屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。29.塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。30.飛散防止のため必ず養生を行ってください。31.薄めすぎは隠れ力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。32.面の積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。33.はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合は、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。34.ローラー塗りの場合、ローラー目ほりは同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目ほりにより、色相や仕上がり感が異なって見えることがあります。35.汚れ、きずなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。36.ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用したり、はきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用にしてください。37.可塑剤が多く含まれる塩ビクロス、塩ビ鋼板、塩ビミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革などへの直接塗装は避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようご注意ください。38.塗料は内容物が均一になるようによくかき混ぜてください。特につや調整品などは、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かきはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかき混ぜて使用してください。39.開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷蔵所で保存し、速やかに使い切ってください。40.塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒ししないでください。41.製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

■詳細な内容、表示例以外の商品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は、事前に相談ください。

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101 近畿支店 ☎06-6455-9608
東北支店 ☎022-232-6711 中国支店 ☎082-281-2180
関東支店 ☎03-5479-3614 四国支店 ☎0877-56-2346
北関東信越支店 ☎03-5479-3614 九州支店 ☎092-751-9861
中部支店 ☎052-461-1960

●本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
●本カタログの商品名、ロゴマークは、日本ペイントホールディングス株式会社または、日本ペイント株式会社+その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
●Copyright © 2023 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.
●日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.
NP-B112
NP231020T
2023年10月現在